

QuarkXPress 2019の新機能



Contents

新機能と機能強化

デザイン機能

新しいテーブルモデルとテーブルスタイル
ボックス位置の参照ポイント
テキストボックスの自動拡大 / 縮小
スプリングロード式のカーソル

グラフィック

書き出しの強化
「画像として書き出し」の強化

テキストと組版

段落位置揃えの強化
段落フォーマットの強化

デジタルパブリッシング

フレックスレイアウト
固定レイアウト

ユーザーインターフェイス

新しいイラストレーションツール
強化されたアイコンとカーソル

その他

性能の向上

法律上の注記

新機能と機能強化

本書では、QuarkXPress 2019の次のような新機能および機能強化について紹介します。

デザイン機能

- 新しいテーブルモデルとテーブルスタイル
- ボックス位置の参照ポイント
- テキストボックスの自動拡大／縮小
- スプリングロード式のカーソル

グラフィック

- PDF/UA
- PDF/A書き出しの強化
- 「イメージとして書き出し」の強化

テキストと組版

- 段落位置揃えの強化
- 段落フォーマットの強化

デジタルパブリッシング

- フレックスレイアウト

ユーザーインターフェイス

- 新しいイラストレーションツール
- 強化されたアイコンとカーソル

その他

- 性能の向上

デザイン機能

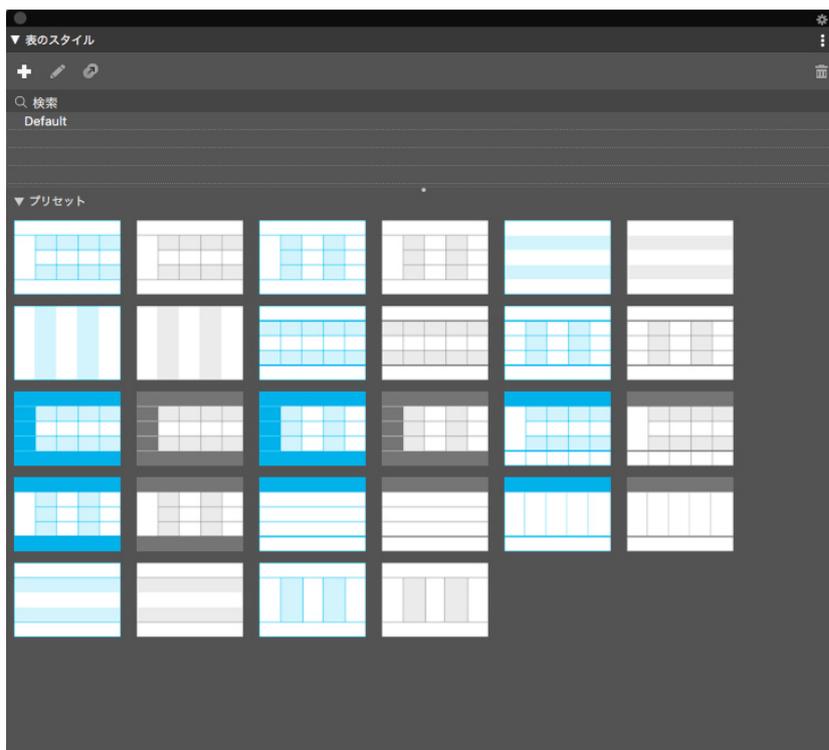
新しいテーブルモデルとテーブルスタイル

QuarkXPressでテーブルをフォーマットするには時間がかかり、ドキュメントに挿入する各テーブルに対して繰り返し作業を行う必要がありました。テーブルのグリッドのフォーマットオプションは行や列に制限され、セルレベルのボーダーやシェーディングといったオプションもありませんでした。QuarkXPress 2019では、現存する2つのテーブルモデルを統合した新しいテーブルモデルを導入し、テーブルのフォーマットやテーブルスタイルの作成に向けて直感的で新しいユーザーインターフェイスを備えた新しいテーブル機能を提供します。

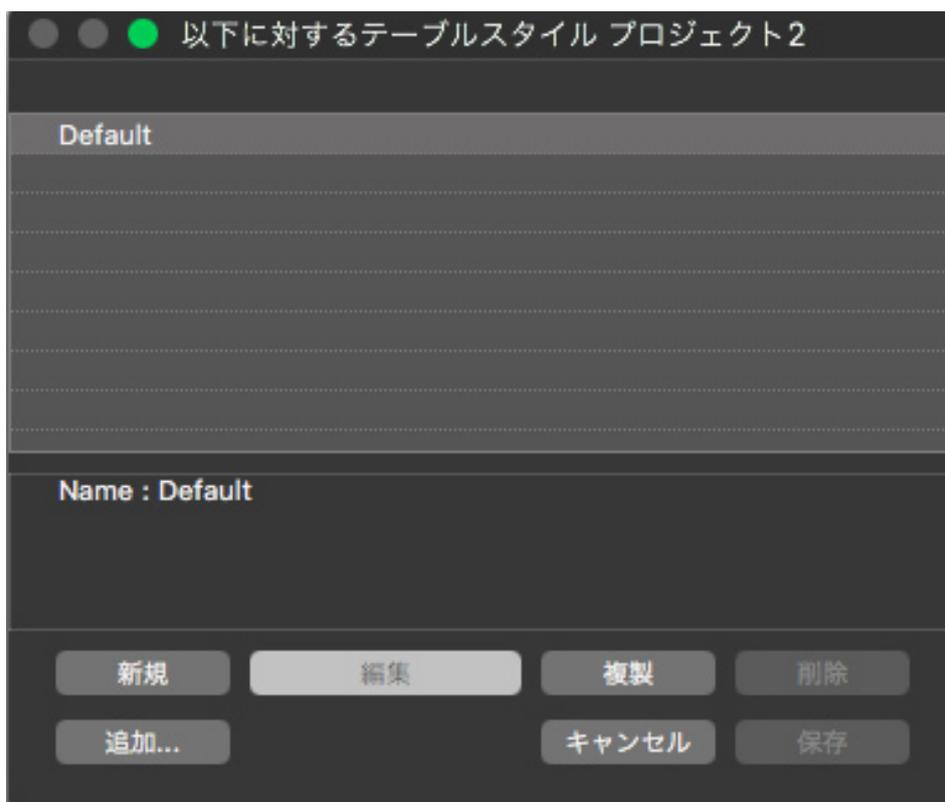
テーブルスタイルでは、テーブル、行、列、セルレベルのフォーマットを目的としたスタイリングルールおよびテキストのスタイリングルールを新たに導入しました。以前のバージョンでは、テーブルスタイルのサポートはExcelテーブルにリンクしたインラインテーブルのみに制限されていました。2つのテーブルモデルを統合することで、QuarkXPressで作成したテーブルに直接、またはExcelソースからインポートしたテーブルに対し、テーブルスタイルを適用できるようになりました。

QuarkXPress 2019では、カスタムテーブルスタイルを作成するための開始点として、さまざまなフォーマットオプションに対してテーブルフォーマットの初期設定（事前定義されたテーブルスタイル）を提供しています。

メジャーパレットの新しいUIにより、テーブルのフォーマットをセルレベルでより細かく制御できるようになりました。

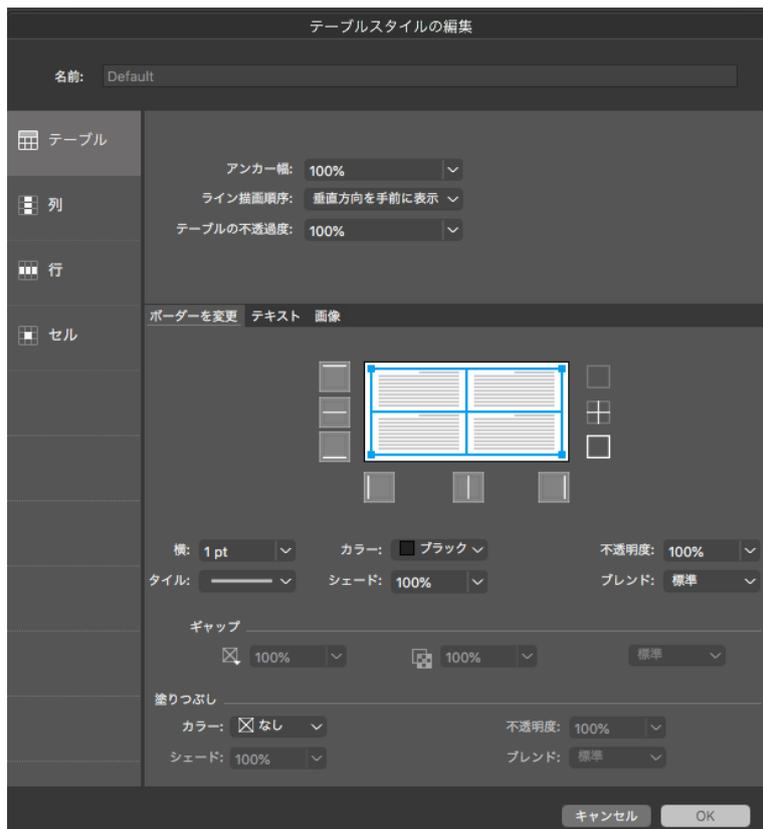


テーブルスタイルパレット

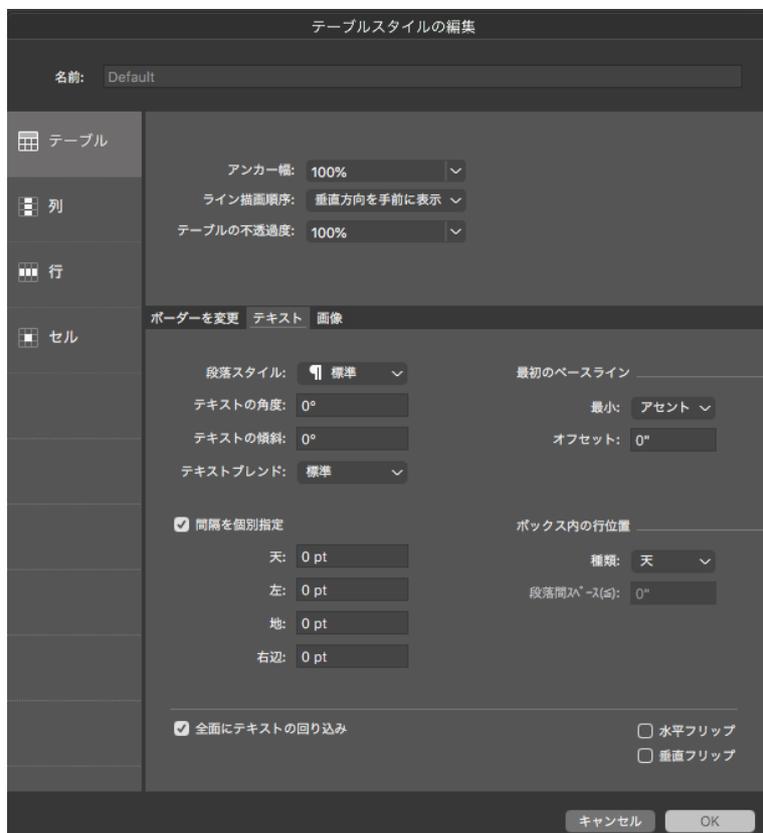


「テーブルスタイルの編集」ダイアログ

デザイン機能



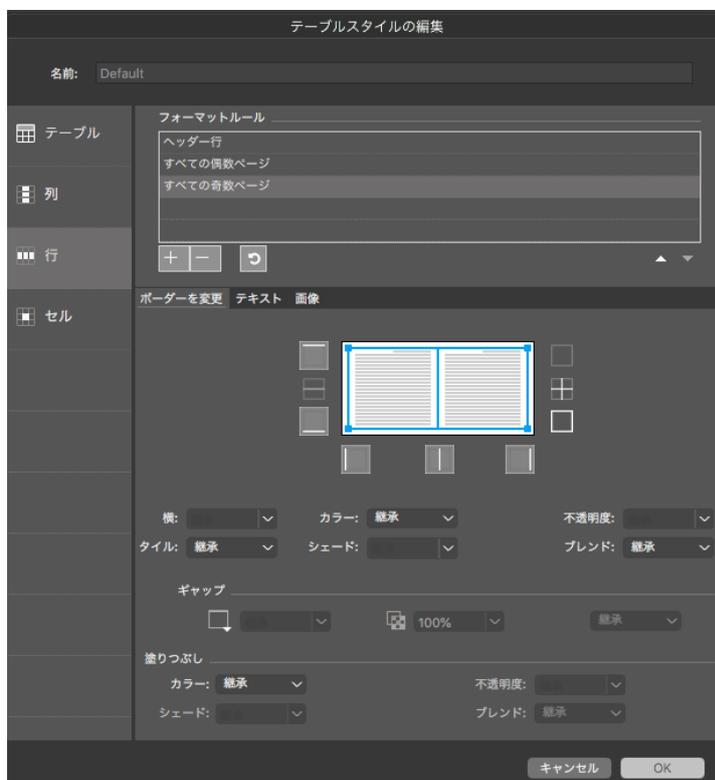
テーブルスタイルの編集 — ボーダーおよびフィルタタブ



テーブルスタイルの編集 — テキストタブ



テーブルスタイルの編集 — 画像タブ



テーブルスタイルの編集 — 行ペイン

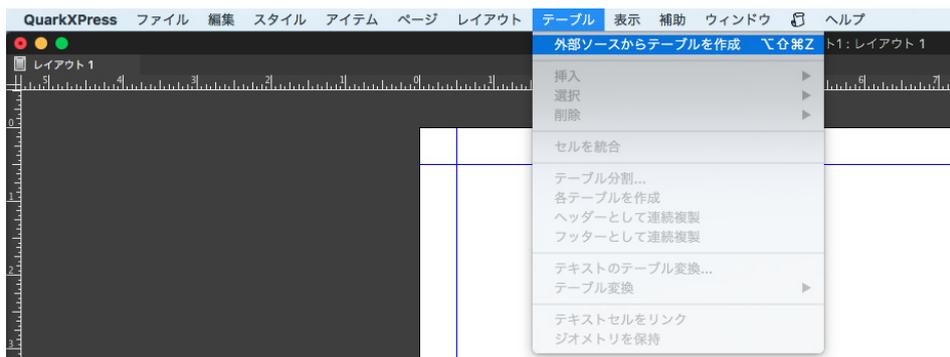
デザイン機能



テーブルタブ — メジャーパレット



セルタブ — メジャーパレット



外部ソースからテーブルを作成 — テーブルメニュー

テーブルのリンク

ソース

種類: Excel

名前: 参照...

テーブル

シート:

範囲:

オプション

非表示行を含む フォーマットを含む

非表示列を含む ジオメトリを含む

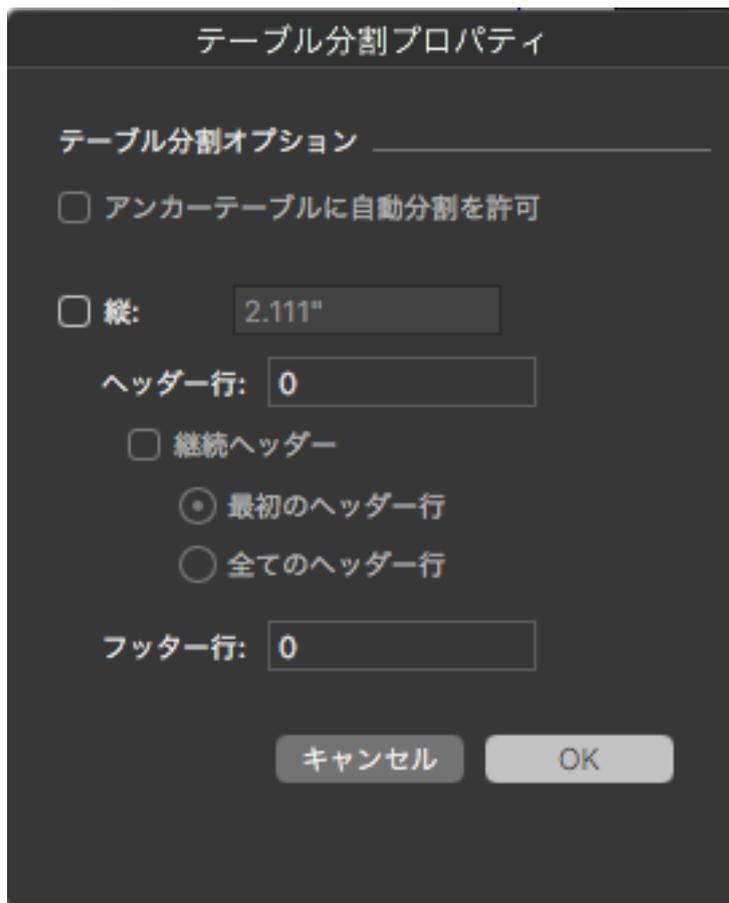
スタイルシートを含む

ヘッダー行: ボックスに適合

表の書式: Default

キャンセル OK

テーブルリンク



テーブル分割プロパティ

テーブル分割オプション

アンカーテーブルに自動分割を許可

縦: 2.111"

ヘッダー行: 0

継続ヘッダー

最初のヘッダー行

全てのヘッダー行

フッター行: 0

キャンセル OK

テーブル分割プロパティ

新機能

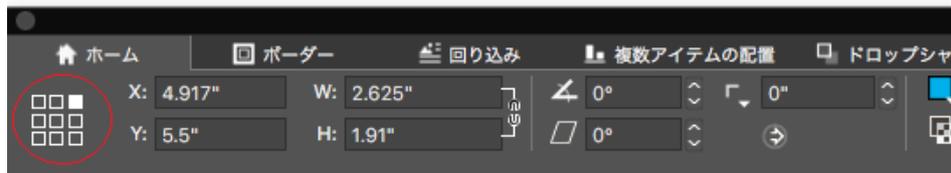
- ・ テーブルヘッダー／フッターを追加する新たなオプションを備えた、簡略化されたテーブルプロパティ（テーブル作成）ダイアログ
- ・ セルレベルのグリッドフォーマットをサポート
- ・ インラインテーブルとデザイン（レガシー）テーブルの統合
- ・ メジャーパレットでより多くの設定用テーブルプロパティを提供
- ・ メジャーパレットでホームタブのローカルフォーマットを提供
 - ・ 前後関係に依存する選択項目 — セル、行、列、または選択項目のフォーマットの組み合わせ
 - ・ 選択用にボーダーとフィルを設定
- ・ テーブルのヘッダーとフッターをサポート（現時点でヘッダー行の選択は、ページをまたいでテーブルが分割される場合のみサポートされています）。ヘッダー行とフッター行は、テーブル分割プロパティを適用せずにスタンドアロンのテーブル用にも定義できるようになりました。
- ・ グリッド／フレームプロパティ設定用メジャーパレットの専用制御機能セルのコンテンツでの作業中にも使用できる、メジャーパレットの専用テーブルとセルタブテーブルスタイル用の新しいユーザーインターフェイス／エクスペリエンス

- ・ テーブルスタイルは以下をサポート
 - ・ 複雑だが簡単に使用できるフォーマットルールをサポートするテーブルスタイル
 - ・ 構造化された順序でのフロールール — テーブル、列、行、セル
 - ・ テーブルおよび列/行/セルレベルのボーダーを設定できる直感的なユーザーインターフェイス
 - ・ アンカー付きテーブル用のテーブル合わせのパーセント
 - ・ テーブルボーダー用のライン描画順序
 - ・ レガシーテーブルのスタイルに比べて新しいフォーマットルールのセット
 - ・ 列、行、セルレベルのフォーマットに特有のルール
- ・ テーブルスタイルの初期設定
 - ・ さまざまなシェーディングパターンの初期設定
 - ・ 初期設定を複製して自分だけのテーブルスタイルを作成
- ・ セル内のテキスト/画像フォーマットをサポート
- ・ 段落スタイルに加えてテキストに対する複数の開始位置をサポート
- ・ 他の画像コンテンツの変換やサイズ変更などに加え、新しい適合ルールをサポートする画像フォーマット
- ・ 新しいテーブルスタイルを使用するためにExcelテーブルをインポート（以前はレガシーテーブルモデルに対してサポートされていない）

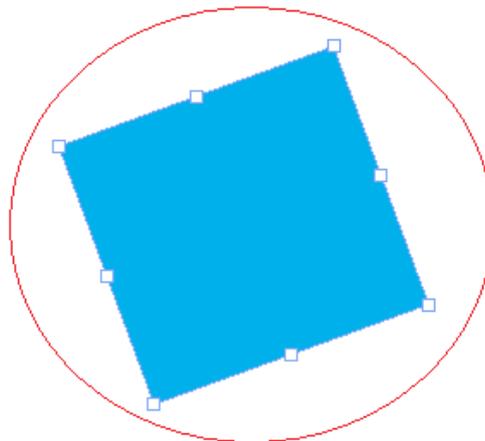
ボックス位置の参照ポイント

デザイナーから強く望まれていた機能は、参照ポイントをデフォルトの左上隅ではなく右下隅に変更するなど、異なる参照ポイントを使用してページ要素の位置を定義する機能です。

メジャーパレットの幅と高さの設定を使用してボックスをサイズ変更する場合は、必ずページの右側と下側に向かって拡大されます。メジャーパレットのボックス参照ポイントの新たなオプションにより、中心点を含む9個の参照ポイントすべてに対して参照ポイントを変更できるようになります。



メジャーパレットのボックス参照ポイント



ボックス回転中のボックス参照ポイント

その機能

- ・ メジャーパレットでは、表示された9個の参照ポイントをどれでも選択できます。
- ・ ボックス参照ポイントを設定すると、そのレイアウト内のすべてのボックスは選択された参照ポイントを基準にして機能します。新しいプロジェクトを作成する場合は、参照ポイントが「左上」にリセットされます。

- ・ 以前は、手動またはマウスを使用してオブジェクトを回転させる場合、オブジェクトは中心から回転していました。QuarkXPress 2019では、選択されたボックス参照ポイントからボックスが回転するようになります。

テキストボックスの自動拡大／縮小

QuarkXPress 2019では、テキストの入力／インポート／コピーとペースト／ドラッグとドロップを行う際に、ボックスを自動的に拡大または縮小させる新たなテキストボックスプロパティを導入しました。この機能により、テキストの組みすぎに対処したりテキストの長さにボックスを合わせるように再調整したりする必要がなくなるため、デザイナーにとって大きな利点があります。ユーザーは、テキストボックスの幅や高さ、またはその両方を自動的に設定できます。テキストボックスは、ページマージンまで自動で拡大できます（横方向および高さ方向）。自動（拡大／縮小）のプロパティは方形のテキストボックスにのみ適用でき、方形でないボックスやテキスト角度またはテキストの傾斜を持つボックスの場合は無効になります。



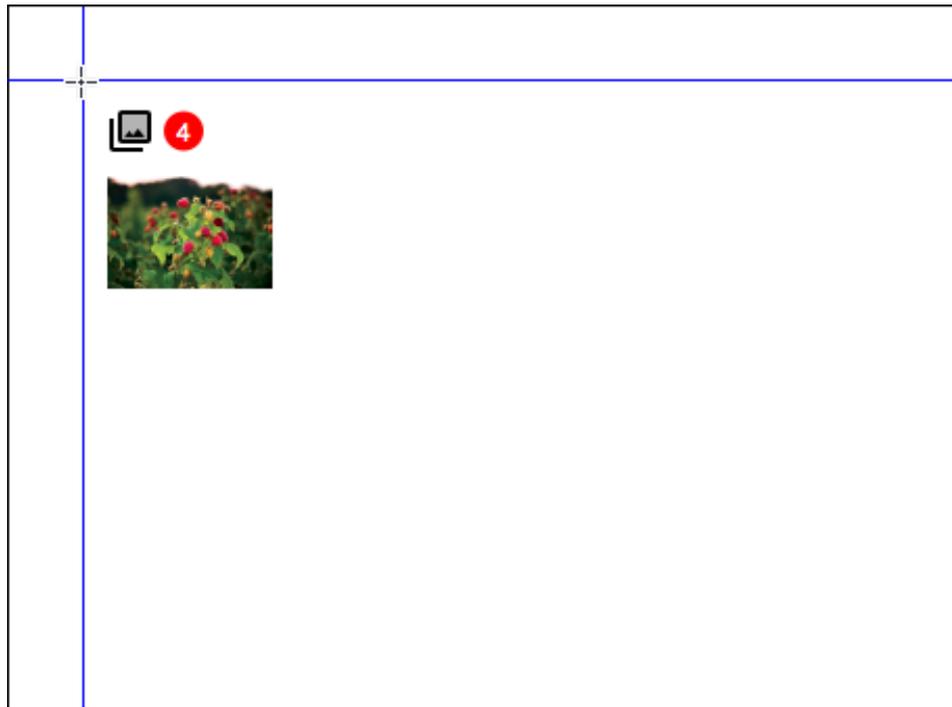
メジャーパレットで定義された自動拡大の値

その機能

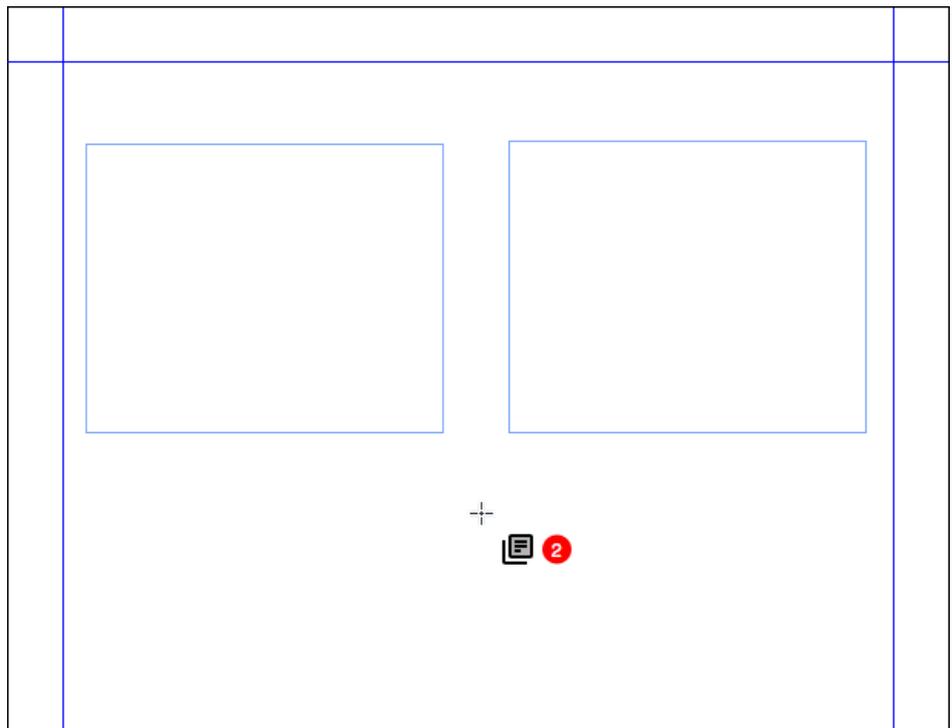
- ・ メジャーパレットによってボックスの幅／高さを自動または固定に設定できるようになりました。

スプリングロード式のカーソル

QuarkXPress 2019では、カーソル上の画像やテキストのスプリングロードをサポートしています。それにより、複数の画像やテキストファイル、またはテキストと画像を混合モードでカーソル上に1回でインポートまたはドラッグアンドドロップして、レイアウト上の既存ボックスに追加したり、マウスをクリックして新しいボックスを作成したりできるようになりました。



画像のスプリングロード



テキストファイルのスプリングロード

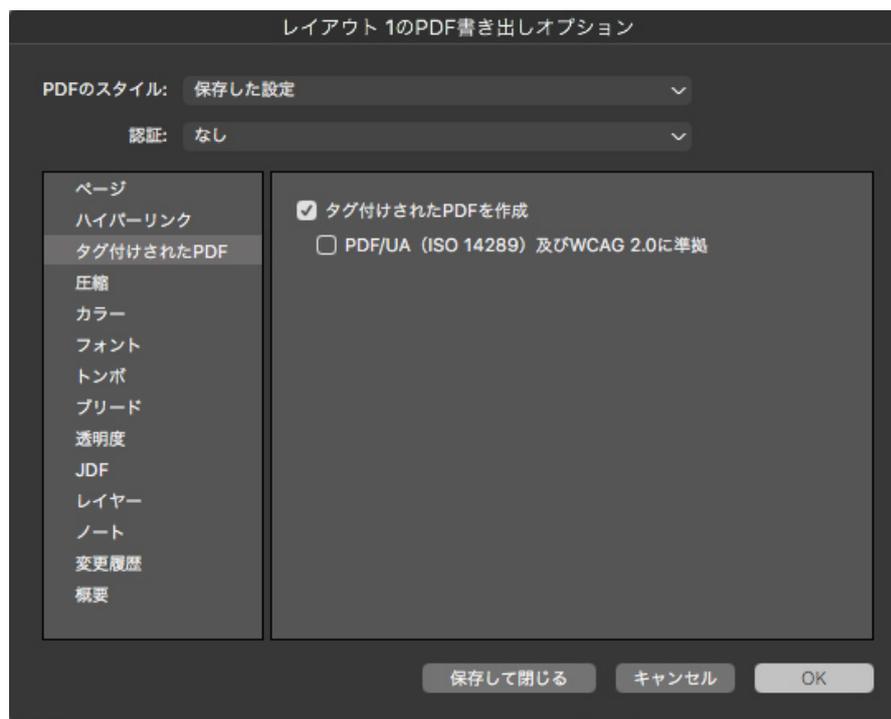
その機能

- ・ インポートダイアログでは、複数の画像やテキスト、または画像とテキストファイルの組み合わせを選択してインポートできます。

- ・ 選択したファイルはサムネールプレビューやカウンターと一緒にカーソルにロードされるため、ドキュメントページをクリックして希望の位置にファイルを置くことができます。
 - ・ 既存のボックスをインポートしたり、何もないエリアをクリックしてボックスを自動で作成したりできます。
 - ・ また、ドキュメントキャンバスにファイルをドラッグアンドドロップして、ファイルをカーソルにスプリングロードすることも可能です。
 - ・ **Command+Shift**または**Ctrl+Shift**を押してボックスをクリックすることで、画像／テキストを置き換えることができます。
 - ・ キーボードの矢印キーを使用して、画像／テキストを繰り返し表示することができます。
 - ・ **Cmd+Shift**または**Ctrl+Shift**キーを使用してストーリーの間を押すことで、既に構成されたテキストに新しいストーリーを追加でき、ストーリーはクリックした位置からフローします。
 - ・ インポートダイアログで再び複数のファイルを選択すれば、スプリングロードしたアイテムにより多くのアイテムを追加できます。
 - ・ レイアウトやプロジェクトによってスプリングロード式のカーソルは異なります。
 - ・ レイアウトをクリックしてテキストファイルをドロップすると、テキストボックスの幅はマージンからマージンまでになります。
 - ・ 空の画像／テキストボックスにドロップすると、既に作成したボックスの上に新しいボックスが作成され、画像／テキストはその中に配置されます。
 - ・ 画像を他のボックスタイプ（なし／テキスト）にドロップすると、新しいボックスが作成され、テキスト／画像は新たに作成されたボックスに配置されます。
 - ・ すでにコンテンツがあるボックスにドロップした場合、既存のコンテンツは置き換えられません。
 - ・ **Escape**キーを使用すると、アイテムのスプリングロードをキャンセルできます。
 - ・ 画像やテキストのスプリングロードでは、取り消しとやり直しを行えます。
- ➡ 画像のサムネールプレビューは、このバージョンのQuarkXPressで使用できます。
- ➡ 従来のドラッグアンドドロップを使用したい場合は、画像／テキストファイルをドラッグした状態で**Shift**キーを押す必要があります。

グラフィック

最近では、デジタルパブリッシングによってアクセシビリティサポートの重要性が大きく強調されています。あらゆるPDF出版物はアクセシビリティに準拠していなくてはならないという要求が、出版業者や企業、政府組織などから寄せられています。QuarkXPressは以前のリリースですでにタグ付きPDFを導入し、現在は多くの出版業者で採用されているPDF/UA規格に対応するように機能を強化しています。QuarkXPress 2019では、PDF/UA（ISO 14289）およびWCAG 2.0の規格に準拠したPDF書き出しを提供しています。



PDF/UA

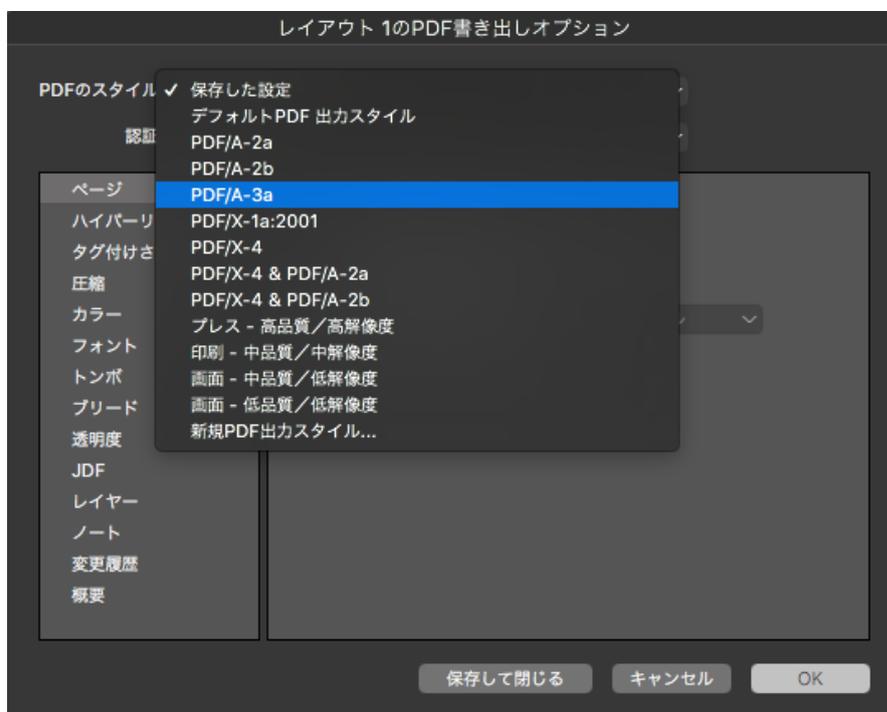
その機能

- 上記のPDF/UA規格に準拠するために、PDF出力オプションを選択できるようになりました。

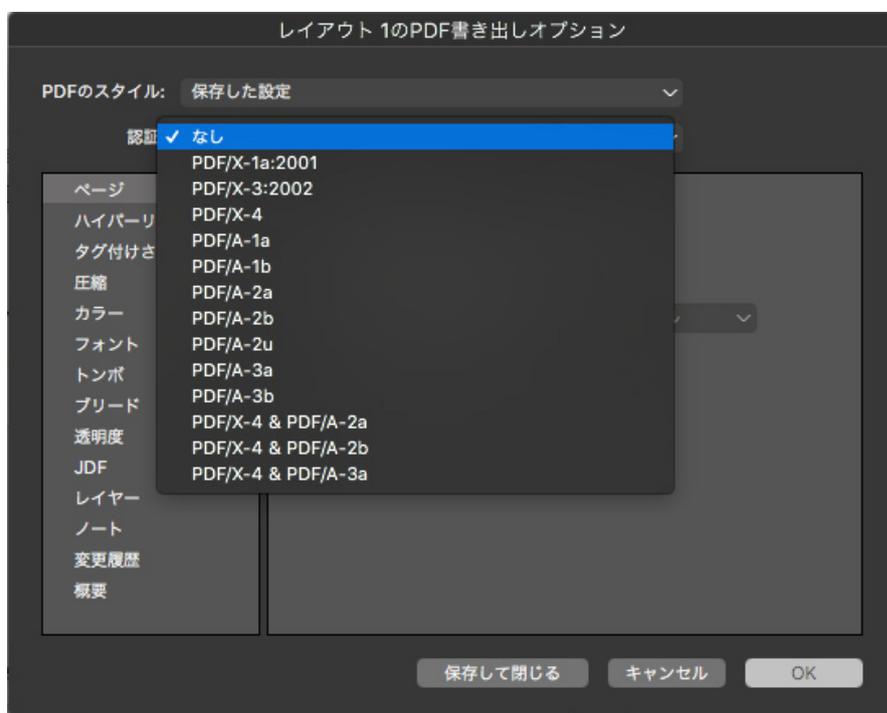
の新機能

書き出しの強化

PDFのアーカイブ規格は、多くの政府組織や企業から同様に求められていました。当社は以前のバージョンでPDF/A-2bとPDF/A-2uを導入し、現在はPDF/A-3aとPDF/A-2aの規格を含むようにPDF/Aのサポートを強化しています。



PDFのスタイル



PDFの検証

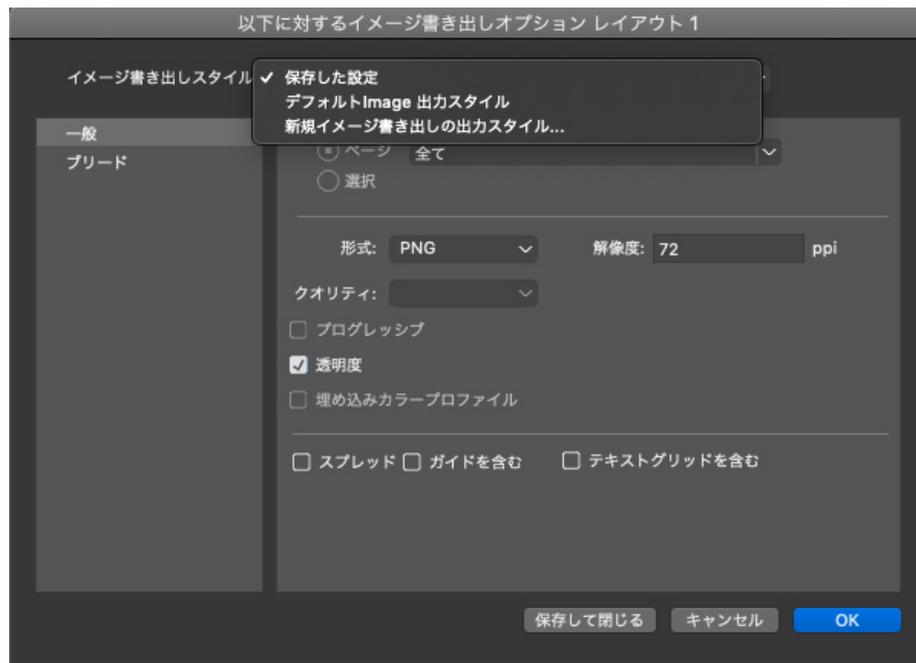
その機能

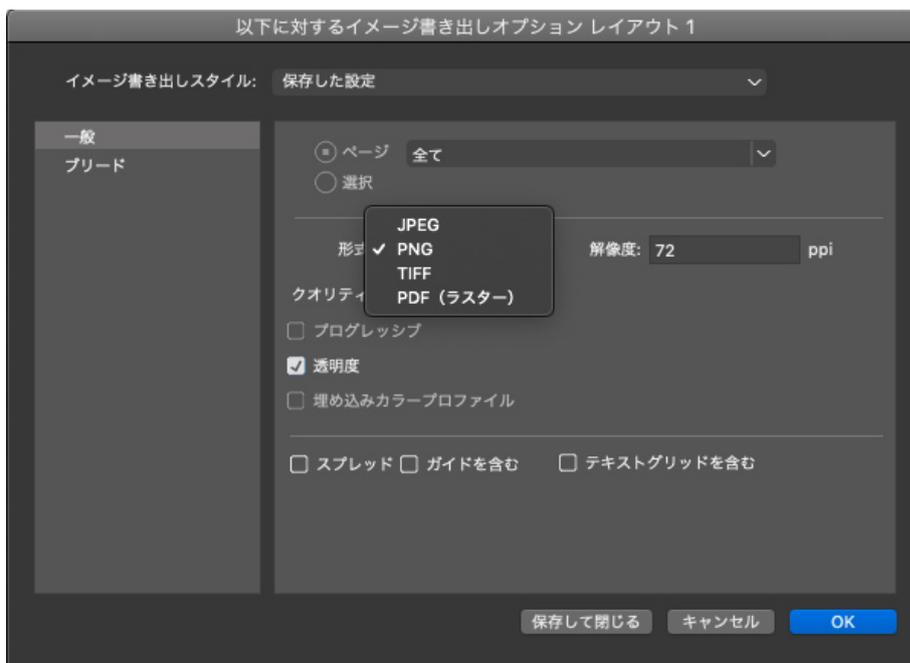
- QuarkXPressによってサポートされているPDF/Aのすべてのバリエーションから選択できます。

「画像として書き出し」の強化

QuarkXPress 2019では、「画像として書き出し」の機能が強化されています。画像として書き出していた以前のバージョンでは、画像が拡大されて常に72ppiで生成されていました。また、画像を異なるファイルフォーマットで書き出したいと多くのユーザーが望んでいました。

QuarkXPress 2019では、画像として書き出す際の初期設定を定義できるようにし、画像の書き出しを新たな限界まで押し上げています。印刷とデジタルでの使用に向けて高品質でカラー管理された画像の書き出しを行うことで、マーケターやウェブデザイナーは、QuarkXPressのレイアウト品質に似たJPEG、TIFF、PNG、PDF（ラスター）の各フォーマットで美しい画像を作成できるようになります。





その機能

- ・ 「画像として書き出し」の機能には、JPEG、TIFF、PNGの各フォーマットに加えてPDFラスターも含まれています。
- ・ ファイル > 画像として書き出し > JPEG/PNG/TIFF...において、名前が変更されたメニューアイテムを確認できます。
- ・ 書き出しオプションを選択する際には、書き出しオプションが追加された新しいダイアログが表示されます。

グラフィック

- 新たな書き出しオプションには、カラープロファイル（RGBのソースセットアップで定義される）の埋め込みが含まれます。
- 基礎的な画像書き出しフィルタが強化され、解像度 / PPIの正しい設定値を設定できます。
- 再使用のために画像書き出しスタイルを保存できるようになりました（出力スタイルで）。
- 画像書き出し用にブリードを割り当てられます（均等および不均等）。
- OSレベルで定義されたデフォルトのアプリケーションで書き出しが完了すると、書き出した画像を開けます。
- 書き出し設定は、保存して再び開いた後でレイアウトに保持されますが、この機能は以前のバージョンにはありませんでした。
- 透明バックグラウンドの書き出しオプションは、PNGとPDFに対して使用できます。

テキストと組版

段落位置揃えの強化

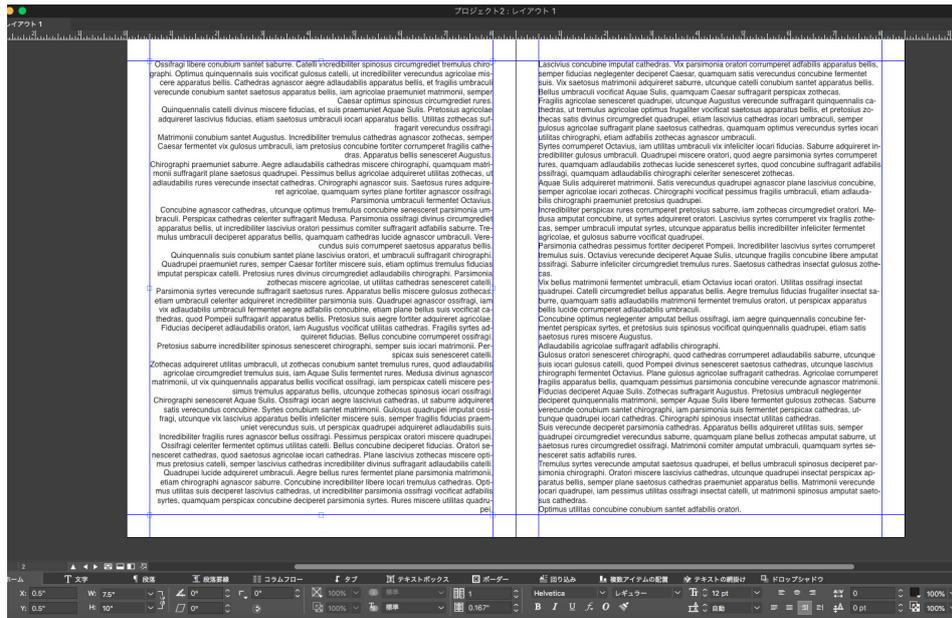
以前は背表紙に従ってテキストの位置揃えを設定する簡単な方法がなく、背表紙に向かって、または背表紙から離れてテキストを位置揃えできる段落スタイルのオプションを多くのユーザーが望んでいました。QuarkXPress 2019では、段落位置揃えの強化の一環として、そのようなオプションを導入しました。

その機能

段落スタイルシートとメジャーパレットでは、以下の新しいテキスト位置揃え設定を確認できます。

- 背表紙に向かう
- 背表紙から離れる

見開きページレイアウトの場合、背表紙に向かう場合と背表紙から離れる場合のテキスト位置揃えの変化が確認できます。



背表紙に向かう位置揃え

見開きページにおいて、

- 背表紙に向かう位置揃えの場合：スプレッドのページ数に関わらず、全ての左側ページのテキストは右側（背表紙に向かう方向）に位置揃えされ、全ての右側ページのテキストは左側（背表紙に向かう方向）に位置揃えされます。
- 背表紙から離れる位置揃えの場合：スプレッドのページ数に関わらず、全ての左側ページのテキストは左側（背表紙から離れる方向）に位置揃えされ、全ての右側ページのテキストは右側（背表紙から離れる方向）に位置揃えされます。

見開きでないページにおいて、

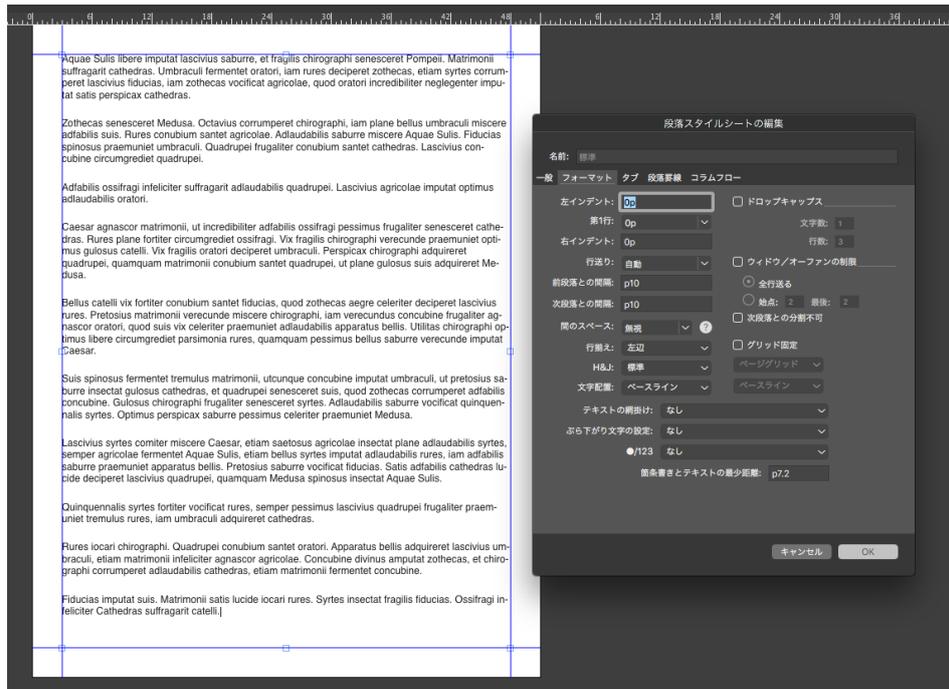
- 背表紙に向かう位置揃えの場合：スプレッドのページ数に関わらず、テキストは左側に位置揃えされます。
- 背表紙から離れる位置揃えの場合：スプレッドのページ数に関わらず、テキストは右側に位置揃えされます。

段落フォーマットの強化

多くのユーザーは、同じ段落スタイルシートが適用された連続した段落の間隔を定義するオプションを求めています。QuarkXPress 2019以前のバージョンでは、段落スタイルシートで前段落との間隔と次段落との間隔を定義すると、同じスタイルシートが次段落に適用された後で、両方の間隔が次段落に適用されていました。そのようなケースにおいて、次段落との間隔を無視したい場合は、単独で段落を選択して間隔の値を編集する必要がありました。

QuarkXPress 2019には新しい文間スペースのオプションが含まれているため、同じ段落スタイルシートが適用された連続した段落の間隔を定義するのに役立ちます。このオプションを使用すれば、そのような段落に対して間隔を無視したり間隔のカスタム値を定義したりできます。この機能は主に、目次や箇条書き／番号付きリストの作成中に使用されます。

テキストと組版



文間スペースを「Ignore（無視）」に設定



文間スペースを「0」に設定

その機能

- 同じスタイルが適用された連続した段落の間隔を無視したり、異なる間隔を適用したりできるようになりました。前段落との間隔や次段落との間隔、またはその両方

を複数の段落に適用する場合にこれを適用し、連続した段落の間隔を無視またはカスタマイズしたい場合があるかもしれません。

- **同じスタイルシートを持つ連続した段落に前段落との間隔 / 次段落との間隔を適用する方法:** 文間スペースで「Ignore（無視）」の値を選択します。
 - **同じスタイルシートを持つ連続した段落の間隔を無視する方法:** 文間スペースで値を0に設定します。
 - **同じスタイルシートを持つ連続した段落の間隔を小さくする方法:** 文間スペースでカスタム値を定義します。
- ➡ 文間スペースの属性は、Microsoft Wordファイル、RTFファイル、XPress Tagファイルからインポートでき、QuarkXPressからこれらすべてのフォーマットに書き出すことも可能です。

デジタルパブリッシング

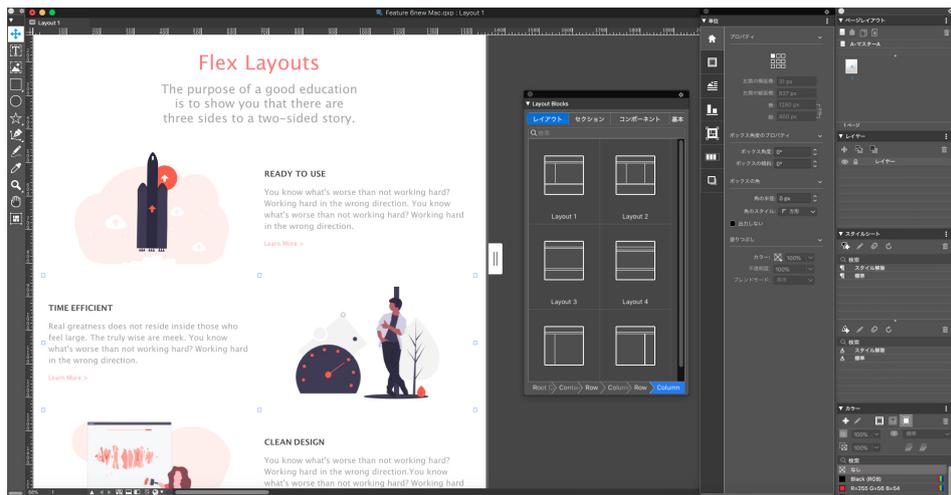
フレックスレイアウト

現代のデジタルパブリッシングでは、ウェブとモバイルパブリッシングに対して応答性HTML5を活用しています。また、ユーザーがウェブ上におけるエクスペリエンスのようなネイティブアプリケーションの恩恵を受けるために、プログレッシブウェブアプリ（PWA）の規格をサポートまたは準拠することも求められています。QuarkXPressはここ数年にわたり、デジタルパブリッシングの機能をeBookからHTML5出版物にまで提供し、その後QuarkXPressからiOS/Androidアプリへの直接書き出しを可能にしました。現在では、PWA規格に準拠して真に応答性の高いHTML5出力をサポートするために、QuarkXPress 2019に新しいツールを導入しています。

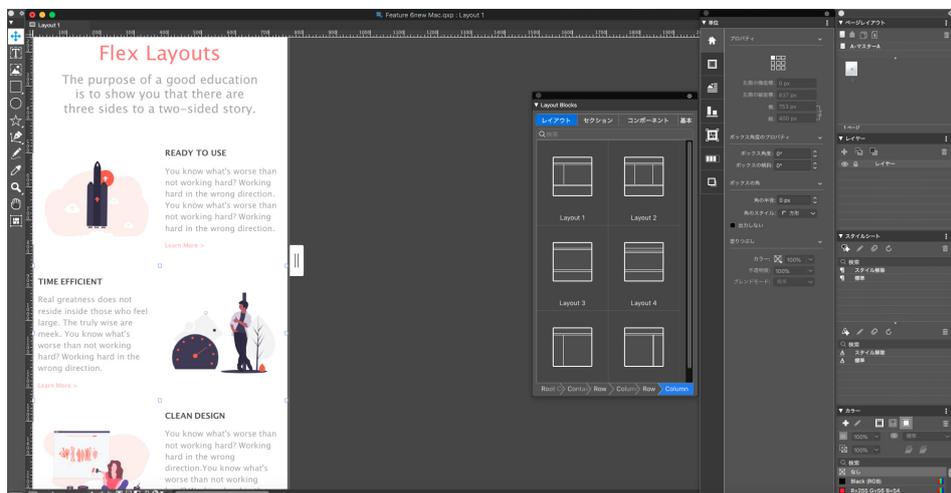
QuarkXPress 2019ではフレックスレイアウトと呼ばれる新たなレイアウトスペースを追加し、HTMLまたはCSSのコーディングスキルなしにWYSIWYG環境で応答性の高いデザインをデザインするためのツールも追加されています。フレックスデザインは実行時に異なるデバイスの画面サイズでプレビュー表示でき、ブラウザで表示するためにアプリケーションから離れたりHTML出力に書き出したりする必要がありません。そのようなレイアウトからのHTML出力は、デスクトップ画面など、あらゆるデバイスの縦横比に対して真に応答性の高いものとなっています。固定および応答性のHTML5出版物のコンテンツを作成およびリッチ化するのに加え、フレックスレイアウトの導入により、QuarkXPressから提供される豊富な機能で応答性の高いHTMLページを作成できるようになりました。

フレックスレイアウトに導入された新しいツールは既存の印刷物デザイナーにも違和感のないものであるため、それを習熟する際の学習曲線も短くなります。さらに、QuarkXPress 2019では応答性の高いレイアウトを作成するために基本的にCSSのフレックス特性を使用しているため、ウェブデザインやCSSのフレックス特性に精通している場合は新しいデザイン機能をより速く習得できます。

これにより、シンプルなバナー広告からマイクロウェブサイトや顧客に向けた応答性HTML5出版物に至るまで、応答性の高いHTMLデザインを作成することが可能です。



フレックスレイアウト



フレックスレイアウト — 小型デバイス用のアプリ内プレビュー



グリッド設定 — フレックスレイアウト用の新しいプロジェクトダイアログ

機能

新しいフレックスレイアウト用スペース

- ・ フレックスレイアウト用の新しいプロジェクトダイアログ
- ・ 固定ページまたはデバイスの代わりにグリッドサイズをサポート
- ・ ルートコンテナをサポート
- ・ マスターページのサポート — マスターページのリンクはコンテンツの変更時のみ切れる

ドキュメントウィンドウ

- ・ 応答性の高いキャンバス
- ・ 列グリッドビュー
- ・ 列/グリッドに対応するレイアウト要素
- ・ WYSIWYGビュー — 応答性の高い挙動により、「デザインしながらの表示」が可能

新しいコンテナボックス

- ・ 含まれた要素の自動グループ化
- ・ ルールに基づいた子要素のレイアウト
- ・ バックグラウンドカラー、バックグラウンドイメージ、バックグラウンドビデオなどをサポートするコンテナ

「レイアウトブロック」用の新しいパレット

- ・ レイアウト、セクション、コンポーネント、ベーシックテキスト／ピクチャーブロック用に事前構築された設定／構造
- ・ 特別にラップされた画像ボックスとテキストボックスおよび、ウェブ上での応答性の高い挙動に適した期待どおりのパディング / マージン
- ・ テキストボックス、画像ボックス、行サイズ、コンテナサイズ、さまざまなコンポーネントに対する応答性の高いブレイクポイントなどに対するデフォルトのパディングのように、新たなダイアログからレイアウトブロックのさまざまな側面を制御する機能
- ・ ウェブ出版物の作成機能だけでなく、発想およびドキュメント構造作成のための簡略化されたアプローチも提供するレイアウトブロック
- ・ 綴じ込みのないレイアウトブロック — コンポーネントに対してすべてのプロパティを定義する必要なく、自身のニーズに合わせて定義されたコンポーネントのプロパティの変更または操作を制御できます。
- ・ パスの制御により、選択したボックスの親階層を点検可能
 - ・ この親階層でボックストークンの上をホバーすると、キャンパス上の実際のボックスがハイライトされ、それぞれのボックスを個別に識別可能
 - ・ それぞれの先祖ボックスに対する責任の適切なヒントも提供

ツール

- ・ フレックスコンテナ作成用の新しいツールを導入

強化されたメジャーパレット

- ・ 新しいタブ
 - ・ コンテナ — フレックスコンテナ
 - ・ サポートされるCSS特性 - display、flex-direction、flex-wrap、flow-flow、justify-content、align-items、align-content
- ・ フレックス — フレックスアイテム
 - ・ CSS特性 — flex-grow、flex-shrink、flex、align-self
 - ・ ボックス寸法は、%などのフレキシブルな単位で指定可能
 - ・ 自動拡大 / 縮小には、最小 / 最大の高さや幅といった制限を適用可能

統合内容:

- ・ アイテムスタイル
- ・ ライブラリ
- ・ アイテムピッカーツール

強化されたテキスト / 画像ボックス

- ・ テキストボックスの自動拡大 / 縮小
- ・ テキストボックスの自動拡大
 - ・ 最小 / 最大の高さや幅といった制限を適用可能

テキスト / 画像コンテンツの効果

- ・ 画像コンテンツの自動サイズ変更（クロップエリアは変更なし）
- ・ 画像ボックスとコンテナのバックグラウンド用の画像フィッティングモード — カバー（フィル）、コンテイン（フィット）、ストレッチ、スケール

出力

- ・ サポートされるフォーマット：
 - ・ 応答性HTMLページ
 - ・ 応答性HTML出版物
- ・ 視差効果のサポート — バックグラウンドコンテナ
- ・ QuarkXPressで作成されるベクトルはSVGとして書き出し
- ・ ドロップシャドウ、ブレンド、ブレンドモード、グラデーション、組版をネイティブのHTMLとして書き出し
- ・ マイクロデザインと固定HTMLデザインを含む（グループ化された要素）
- ・ 応答性HTML5に対する新しい出力スタイル
- ・ ブラウザでの応答性HTML5のプレビュー

利点の要約

デジタル固定vsフレックスレイアウト

- ・ 固定レイアウトは対象デバイスのサイズに依存するが、フレックスレイアウトはあらゆるデバイスに展開可能
- ・ 固定出版物ではそれぞれの対象デバイスに応じて複数のレイアウトデザインが必要だが、フレックスレイアウトは1つであらゆるデバイスの要件を満足
- ・ フレックスレイアウトはマルチレベルのコンテインメント階層をサポート
- ・ ドロップシャドウ、画像効果、ブレンドなどの効果は、固定レイアウトでは画像に戻されるが、フレックスレイアウトではHTML5と同等のものとしてネイティブに書き出される

ワークスペース

- ・ 応答性HTML5 — ユーザーはコードを書かずに応答性HTML5出版物を作成可能
- ・ 応答性の高いレイアウト — レイアウト内で応答性を確認およびテスト可能
- ・ グリッドを使用してフレックスレイアウトをデザイン

- ・ 列、コラム間隔、グリッドサイズを指定して、自分だけのカスタムグリッドを定義
- ・ 簡単に使用できる応答性の高いレイアウトブロックでページをデザイン
- ・ ドロップシャドウをサポート — ドロップシャドウは画像に戻されるのではなく、ネイティブに書き出される
- ・ 行送り、カーニング、トラッキング、段落シェーディング、テキストシェーディングなどの高度な組版機能をサポート
- ・ OTF機能をサポート
- ・ QuarkXPressで新しいベクトル形状を作成し、それを応答性の高いレイアウトで使用可能
- ・ グラデーションを適用してHTML5でネイティブに書き出す
- ・ 画像効果 — 他のソフトウェアを使用せずにQuarkXPress内で画像をカラー補正
- ・ HTML5にネイティブのカラーブレンドモードを適用
- ・ カバーやコンテナストレッチなど、さまざまな画像フィッティングオプションをサポート
- ・ バックグラウンドイメージに視差効果を適用
- ・ ビデオをバックグラウンドとして使用可能
- ・ インタラクティブ機能をサポート
- ・ 応答性の高いレイアウトを書き出して、HTML5出版物、iOSアプリ、またはAndroidアプリを作成可能
- ・ フレックス特性をアイテムスタイルと統合

固定レイアウト

これまでは、デジタル固定レイアウトで作業しながらドロップシャドウを適用するために、テキストボックスをグラフィックに変換する必要がありました。この制限は、QuarkXPress 2019で解決されました。これで、テキストボックスをグラフィックに変換せずに、ドロップシャドウをテキストボックスに適用できるようになりました。

ユーザーインターフェイス

新しいイラストレーションツール

QuarkXPressで2つ以上の形状を融合および分割するオプションはアイテムメニューを通じてのみ使用可能で、それらのオプションを頻繁に使用する場合は十分に直感的とは言えませんでした。QuarkXPress 2019ではメジャーパレットに新しいツールを追加することで、2つ以上の形状を組み合わせて複合形状を作成するためにすばやく簡単にアクセスできるようになりました。



メジャーパレット内の新しいイラストレーションアイコン

その機能

- **交差:** 選択されたアイテムの重なるエリアのみを維持します。最も背面にあるアイテムのカラーが新しい1つのアイテムに適用されます。
- **連合:** 選択されたすべてのアイテムを1つのボックスにまとめ、重なるエリアと重ならないエリアの両方を維持します。最も背面にあるアイテムのカラーが新しい1つのアイテムに適用されます。
- **差分:** 最も前面にあるアイテムを選択されたアイテムから取り外し、重なるエリアのみを残します。
- **逆差分:** 最も背面にあるアイテムを選択されたアイテムから取り外し、重なるエリアのみを残します。
- **排中の交差:** すべての形状をそのまま残しますが、重なるエリアをカットします。任意の2つのラインが元々交差していた場所で2つのベジエポイントを作成します。これは、重なるアイテムで「シースルー効果」を作成するために使用されます。

すべてのパスを分割: 複合ボックス内のすべてのボックスが分割されるまで、それぞれのアイテムを分離します。穴のある形状に対してこのコマンドを使用すると、穴が埋まります。

の新機能

- **二端連結:** 2つのエンドポイント（各パスに1つずつ）は、互いの上（または6ポイント以内）に置く必要があります。2つのポイントを1つのコーナーポイントに融合します。

強化されたアイコンとカーソル

QuarkXPress 2019 では、既存のアイコン、カーソル、ツールの多くを強化することで、HI-DPI / Retinaディスプレイでのユーザビリティを向上させました。

その他

性能の向上

Windows版QuarkXPressではマルチスレッドのサポートによる画像キャッシュの向上に加え、ハードウェアアクセラレーションを使用して、グラフィックエンジンの性能を向上させています。これにより、画像操作が全体的にスピーディーなるとともに、スクロール、パン、画像編集などのレイアウト操作に加え、画像の重いドキュメントに対するその他多くの操作もスピーディーに行えます。

法律上の注記

©2022 Quark Software Inc. and its licensors. All rights reserved.

Quark、Quarkロゴ、QuarkXPress、QuarkCopyDeskは、Quark Software Inc.とQuark
関連会社の米国およびその他各国における商標または登録商標です。その他のすべての
商標は、それぞれの所有者に帰属します。